

カルボプラチントリプチル+パクリタキセル+アバスチン+キイトルーダの治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。

お薬の名前	1日目	2~21日目
キイトルーダ (ペムプロリズマブ) 200 mg	 30分	
アレルギー予防・ 吐き気止め	 30分	お休み
パクリタキセル (パクリタキセル) mg	 3時間	お休み
カルボプラチントリプチル (カルボプラチントリ) mg	 1時間	お休み
アバスチン (ベバシズマブ) mg	 初回は90分、 2回目60分、 3回目以降は30分	お休み

※アルコールが含まれているため、アルコールに弱い方は、お酒を飲んだ時のように顔が赤くなったり、脈が速くなったり、気分が悪くなることがあります。

★起こりやすい副作用

これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後10~14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！ 白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。



貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などがおこりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

〈ご自身でわかる副作用〉

悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。治療時期に合った吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

過敏症

点滴中にアレルギー症状がおこることがあります。『息苦しい』『胸が苦しい』『心臓がドキドキする』『発疹ができる』『顔がほてる』『汗ができる』『顔や体がかゆい』などの症状がおこった時は、すぐにスタッフを呼んで下さい。

⇒アレルギー症状は、多くの場合、点滴を始めてから数分でおこります。

末梢神経障害

治療を開始した直後に、手足がしびれることもあるれば、徐々にしびれが出てくる場合もあります。治療を終えても、しびれが回復するまで時間がかかります。

⇒日常生活に支障が出る時は、主治医に相談して下さい。

関節痛

高血圧

血圧が上がることがあります。血圧が高いと頭痛をともなうことがあるので、場合によっては、血圧を下げる薬を使うことがあります。

⇒血圧は、毎日決まった時間に測定し、記録をつけていきましょう。

出血

鼻や歯肉、瞼などの粘膜から出血することがあります。また、患部から出血することもあります。10~15分たっても血が止まらない場合は病院へ連絡して下さい。

キイトルーダの注意すべき副作用

間質性肺炎、大腸炎・重度の下痢、重度の皮膚障害、神経障害、肝機能障害、内分泌障害、1型糖尿病、腎機能障害、肺炎、筋炎・横紋筋融解症、重症筋無力症、心筋炎、脳炎・髄膜炎、免疫性血小板減少症、貧血、点滴時の過敏症反応、ぶどう膜炎

⇒比較的まれな副作用ですが、重篤化する場合があるので注意が必要です。個々の症状については別冊の冊子を参照してください。

脱毛

創傷治癒遅延（傷が治りにくい）



★すぐに連絡をいただきたい副作用

★「胸の痛み」、「息苦しくなる」、「片方の足の急激な痛みや腫れ」（血栓・塞栓症）

★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）

★「急な激しい腹痛」、「お腹を押した際に痛む」、「発熱」（消化管穿孔）

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。